

わがまちみらいマネジメント講座

ファシリテーター養成② 実施報告書

- 1 日 時 平成31年2月2日（土）10時～17時
- 2 会 場 長崎市民会館6階 第9・10会議室（長崎市魚の町5番1号）
- 3 講 師 山口 覚 氏
（津屋崎ブランチLLP 代表）
- 4 開催目的 地域活動のリーダー等を対象として、地域活動における運営能力の向上や地域活性化に効果的な手法の習得を目指す
- 5 テーマ ファシリテーター養成（3回連続シリーズ）
話し合いの場での参加者の意見の引き出し方などを学ぶ
- 6 参加者 14名
- 7 実施内容

○開会

ファシリテーター養成②

「口の字型の会議の演習」



○講師紹介

津屋崎ブランチLLP
代表 山口 覚さん



○自己紹介（チェックイン）

3～4 人のグループに分かれて、前回の講座から今日までの出来事などを交えて自己紹介しました。



○前回の振り返り

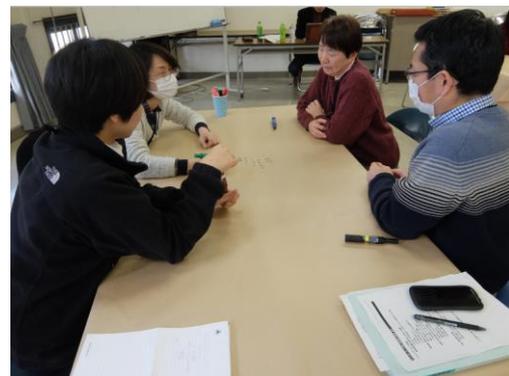
復習を兼ねて、前回の参加者から初参加の方々へ前回はどのような内容だったかをレクチャーしました。



○上手くいかない会議とは

上手くいかない会議とは具体的にどうい
うものか、意見を出し合いました。

- ・時間が過ぎるばかりでまとまらない
 - ・テーマがはっきりしていない
 - ・発言する人が偏る
 - ・否定的な意見ばかり出る …など
- たくさんの意見が出てきました。



○上手くいく会議とは

「上手くいく会議」の3つのポイント

- ・進行役（ファシリテーター）のスキル
- ・目的がはっきりしている
- ・場の設定（段取り、会場設営など）



○会議をやってみよう

「グループの名前を決めよう」というテーマで4、5人で会議を行い、それぞれグループ名の発表と、どういう過程を経てその結論に至ったのかを全員で共有しました。グループによって過程は全く異なり、山口さんから、途中の意思決定などのファシリテーターの役割が重要であるという話がありました。



○ファシリテーターに挑戦

地域の会議等でもよく使われる口の字型の形式で次のテーマで模擬会議を行い、数名の方が実際にファシリテーターを体験しました。



模擬会議①

中学校に自販機を設置するか否か決める

模擬会議②

自治会旅行を企画する



会議が終わる度に、山口さんから話し合いのポイントなどを教わり、参加者同士で振り返りをしながら、ファシリテーターとして必要なスキル学びました。

➤ポイント

- ・ホワイトボードなどを使って可視化する
- ・決まったことがあればその都度全員に確認を取り、後戻りしないようにする
- ・進行する上でのルールを決めておく
- ・反対派、少数派の意見も受け止める
- ・意見が出ない時は、少人数で話す時間を設ける …など



○振り返り

「今日参加してどうだったか」を1人ずつ発表し、振り返りをしました。

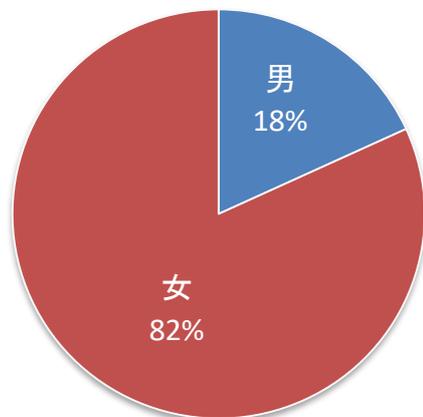
「実際に会議をやってみることで、自分のクセを自覚できた」「会議を進行するに当たり、いろいろなスキルを知ることができた」などの声がありました。



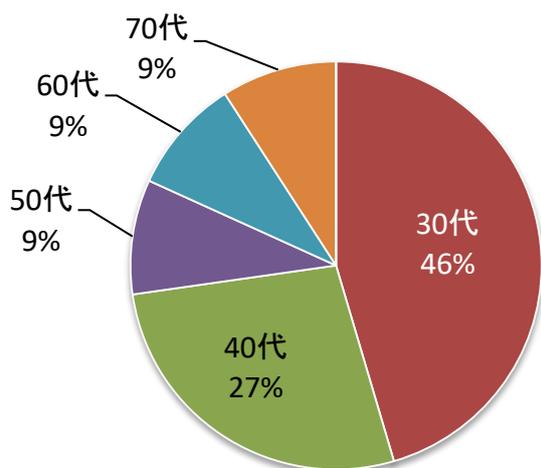
8 アンケート結果

別紙「アンケート結果」参照

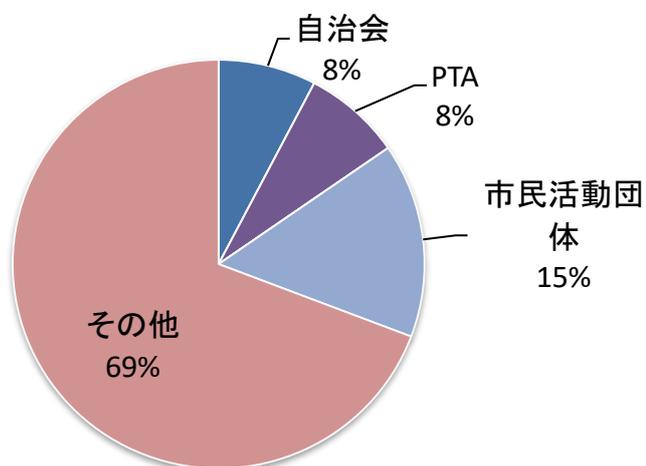
参加者 男女比率



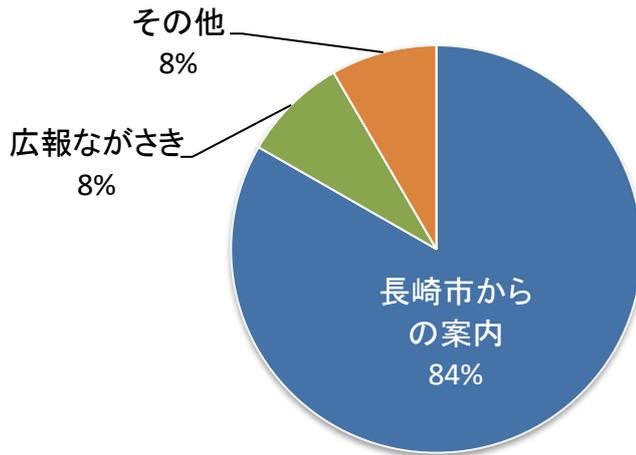
参加者 年代比率



参加者 団体比率

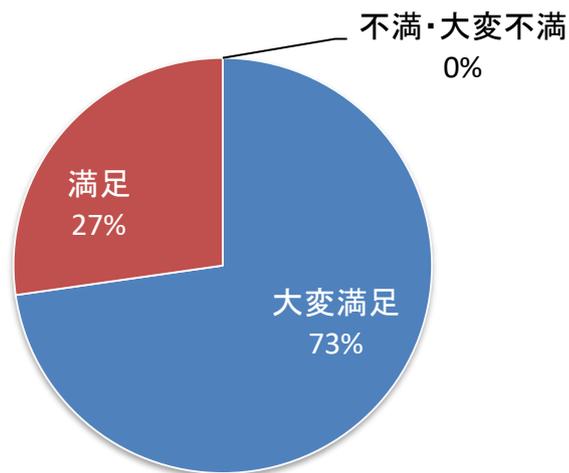


1 本日はどのようなきっかけでご来場されましたか？（複数可）

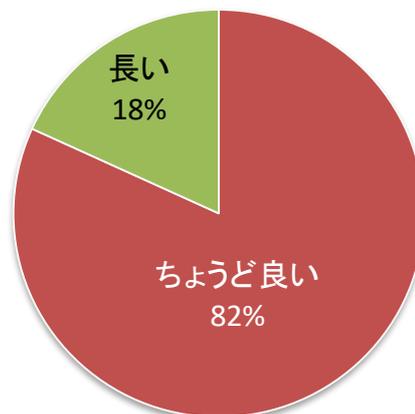


2 本日の講座の評価について、当てはまるものを選んでください。

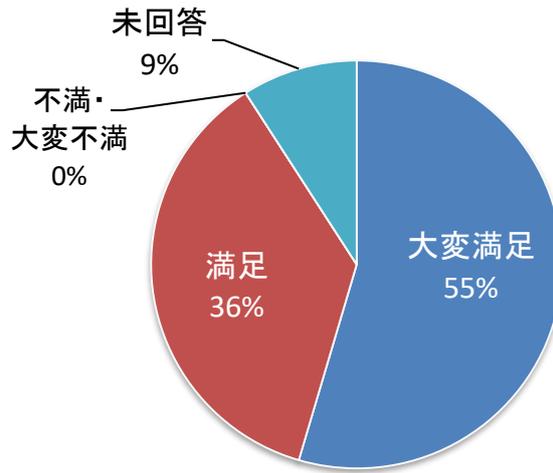
(1) 講座内容について



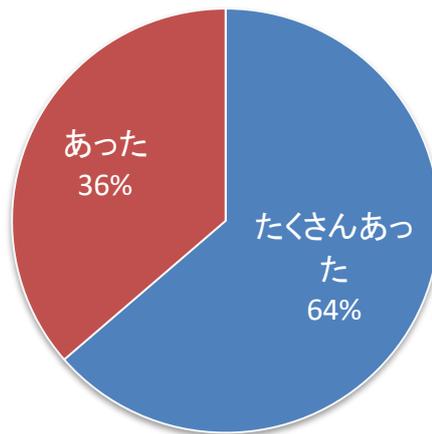
(2) 時間配分について



(3) 全体的に



3 新たな発見や活動の参考になることはありましたか？



3 新たな発見や活動の参考になったこと（自由記述）

内容
<p>会議を進行するに当たり、いろいろなスキルを知った。合意を積み上げていく。2～3人の少人数で話をし、全体に反映する。可視化すること等、今後努力していきたいと思う。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・会議の進め方、ファシリテーターの役割 ・一つ一つ合意を求めて納得感のある判断にしていくこと
<p>やはり自分は、 自分の意見を言いたがる傾向がある 自分の意見を通したいという気持ちを持っていると公平に意見を募り、まとめることは難しいと思う</p>
<p>普段の自分のクセを認識することができ、改善できるポイント(合意形成など)もわかったので、今後に活かしていきたいと思う</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・1つ1つに合意をもらいながら進めていくことで、納得してもらえらる会議になるということ ・メリット、デメリットなどを可視化することで、意見の出ているところ、出していないところがわかる ・少人数で話をする時間をとることで、意見が出やすい
<ul style="list-style-type: none"> ・会議の進行の仕方や1つ1つ丁寧に合意をつみ重ねることが大事だと思いました。 ・会議の内容を可視化することでスムーズに進行しやすくなることを学びました。
<p>自分でもたくさん学んでファシリを頑張りたいと思った。冷静さはファシリにとっても大切だと思った。</p>
<p>ホワイトボードを使って可視化することにより、会議の進行を全員が把握できて、会議の流れがスムーズにいくことや2～3人で話すとたくさん意見がでることがわかった。</p>
<p>ファシリテーターの役割がわかった。何を明確にすれば、会議がスムーズに進むのか参加しやすいのか、参加型の研修でよかった。ファシリテーターの難しさも理解できた。</p>
<p>意見をひろいあげること。合意を得ること。可視化することなど→学ぶことができた 最後の口の字型会議は、難しさを感じ勉強になった</p>
<p>目からウロコもっと早くに参加したかった でも、是非とも今回の講座を活かしたいと思います。</p>

4 その他、ご意見・ご要望、感想など（自由記述）

内容
ありがとうございました
市民の方が積極的に参加されていたので良かった
ファシリテーターを経験することができて良かったです
・大変参考になりました。ありがとうございました。
明日から、学んだことを実践していきたい。
山口先生の講座に又、参加したいので情報をお知らせして欲しいです